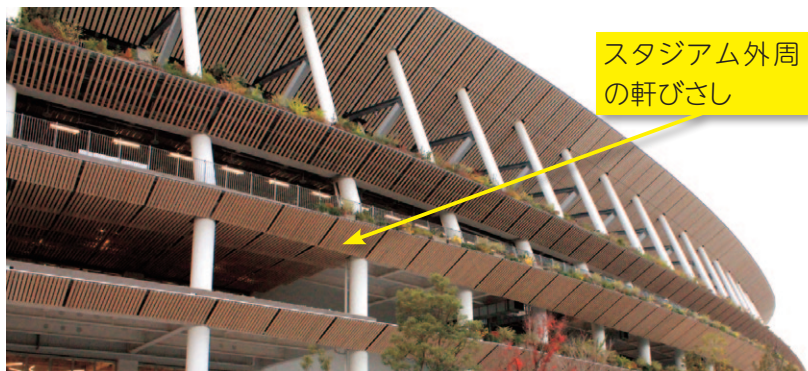


東京五輪開催 鹿沼産材の建物はココ!

林政課木のまち推進係 ☎(63)2186

1年延期となっていた東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されることになりました。本県出身の選手たちの活躍が期待されますが、こちらも要注目。大会会場施設(新国立競技場・選手村ビレッジプラザ・有明アリーナ)には鹿沼の木材が使用されているのです。選手たちの活躍を支える会場施設にも思いを馳せてみませんか。

新国立競技場



大会のメインスタジアムとなる「新国立競技場」の大屋根と外周の軒びさしの一部に、鹿沼産森林認証材のスギ材が使われています。軒びさしには47都道府県から調達された森林認証材を使用し、スタジアムの方位に応じて配置されています。

選手村ビレッジプラザ



選手団の入村式の舞台となる「選手村ビレッジプラザ」は、選手村を代表する施設であり、報道機関向けのメディアセンターが設置されているほか、雑貨店やカフェを備えるなど、大会期間中に選手の生活を支える施設です。栃木県からは代表して、県・鹿沼市・日光市が木材を提供しました。木フェンス、土台、床の一部に鹿沼産森林認証材のスギ材が使われています。

●本市林業の活性化に向けて

原木丸太の生産から木材加工まで、すべて鹿沼市内の事業者が手掛けました。「木のまち鹿沼」にとって、国家的なプロジェクトに地元産の森林認証材が使われることは大変名誉なことであり、これを機に、SDGs(広報かぬま6月号に特集記事があります)に寄与する鹿沼産の森林認証材が多くの方に利用され、本市の林業の活性化につながることを期待されます。

本プロジェクト協力事業者…鹿沼市森林組合、栗野森林組合、(有)高見林業、栃木県森林組合連合会、栃木県集成材協業組合、(株)栃毛木材工業、テクノウッドワークス(株)

リーバス

市民活動

コチ人権・鹿沼産材

鳥獣害・入園ガイド

成年後見

文化祭

市民の広場

アイドルラッシュ

健康

お知らせ

そば天国